



2023-2024年度
RI会長
ゴードン R. マッキナリー
RIテーマ
CREATE HOPE in the WORLD

国際ロータリー第 2830 地区

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内
TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 築館 智大 会長 ● 小林 弘文 幹事 ● 平野 薫 SAA ● 久保 隆明

<https://8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会



7月 母子の健康月間

vol. 3 第 2534 回例会 2023.7.18

12:30 ~ 八戸プラザホテル
司会：吉田美登紀副 SAA

RIテーマ
点鐘

- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

ビジター



南グループガバナー補佐
吉田賢治様 (八戸南RC)

2022-23年度100%出席



平野榮子会員 (20年・バッジ)

ご挨拶

大沼 衛会員



去る7月15日、大雨の中、皆様にご足労いただき無事葬儀を終了できました。本当に急だったもので、6月に施設に入り20日で病院へ入院、5日で亡くなりました。なかなか面会も出来ずあっという間でした。葬儀もバタバタして、まだバタバタしています。今日もこの挨拶が終わりましたら早退させていただきます。本当にありがとうございます。

(食事)

会長要件

小林弘文会長



本日は委員会活動計画の発表になっています。先日、7月9日(日)、蕪島の清掃活動を行いました。総勢13名ほどでごみは4~5袋くらいになりました。思ったよりきれいでしたが、缶、ペットボトル、金属片等回収しました。全員Tシャツを来て参加していただきました。

今日の会長要件はロータリーの歯車のお話をしたいと思います。この歯車のマークの意味とは、組織内の個々のメンバー・クラブが協力しあって大きな変化を実現するための連携と統一を象徴しているそうです。個々の要素が互いにかみ合って円滑な動きを生み出す仕組みであり、それぞれの役割と貢献が重要であること。連携と協力の大切さを象徴して、組織内のメンバーが一体となって社会貢献を行っていることを表しているそうです。

あと11ヶ月、皆さんご協力よろしくお願いします。

幹事報告

平野 薫幹事

◎8月8日、南部RCとの合同早朝例会
会場：弓道場

ご挨拶

南グループガバナー補佐 吉田賢治様

まずは、小林会長1年間よろしく申し上げます。皆さんこの黄色いTシャツはなんだ？と思われたかと思いますが。築館ガバナー発案でポリオ・プラスを知るきっかけになればとTシャツを作らせていただきました。他の5人のガバナー補佐とこれを着てなるべく例会にお邪魔しようということになりました。小林会長が歯車のお話をされましたけれども、私も歯車の一部になって、皆さんのお力に少しでもなればと、お手伝いできればと思っております。一年間よろしくお願ひいたします。来月、合同夜間例会がありますので是非ご参加いただければと思います。

決算報告

大入武志会員

理事会で承認を得ましたのでご報告いたします。

親睦委員会

吉田悦子会員

ニコニコBOX

八戸南RC
吉田賢治様：本日はよろしくお願いします！！

八戸北RC
奥井義則会員：7月7日、八戸カントリーでの青銀サマーコンペでエージシュート82点で迎えました。

大沼 衛会員：
米山記念奨学金
澤口忠彦会員：

出席報告

本日の出席率 65.8%
前々回 (7/4) の修正出席率 65.8%

委員会活動計画

◇会長エレクト 中山恵美子会員(代読:小林会長)

本年度は会長エレクトとして諸先輩方のご指導を賜りながら、小林会長の掲げる「共に未来を築く」のテーマの下、メンバーの結束強化や地域の課題解決の取り組みの実践に貢献できるよう努めてまいります。次年度にむけては、本年度の活動を通じてクラブ運営を学びながら、時期会長としての方針を確立できる一年にしたいと考えております。

◇SAA 久保隆明会員

1.会長幹事らと連携をとりながら、円滑な例会進行を目指していきます。

2. ゲスト・ビジターが楽しく過ごしていただけるように、楽しい雰囲気を作成できるように努めます。

◇**クラブ管理運営委員会** 千葉清彦委員長

今年度は、新型コロナウイルスの影響が大分少なくなってきましたので、昨年度よりは活動が活発になると思います。各小委員会が会長方針に沿って、クラブの活性化を図り、クラブの特徴を十分に活かした活動を確実に実行できるように皆様のご協力をお願い致します。

◇**クラブ組織小委員会** 田村隆直リーダー(代読:小林会長)

今年度は、新型コロナウイルス感染症も第5類に引き下げられ、様々なイベントが行われようとしています。小林会長の掲げる「共に未来を築く」を鑑みますと、より魅力あるクラブにする事により、新規会員増強また脱会防止につながり会長方針により近づけるのではないかと考えます。そのためにはまず小委員会で親睦を深めながら意見を出し合う機会を計画したいと思います。目標は、確実に1名の純増。職業分類の充填はもとより、様々なイベントを活用し女性や若者にも積極的に勧誘をはかっていきたいと思ひます。出席率の向上、脱会防止も小委員会で議論し、より良い方法を見出せたらと考えております。宜しくお願ひ致します。

◇**クラブ運営小委員会** 小澤一雅リーダー

コロナによる制約がほぼなくなった今年度、改めて組織の在り方と運営を見直し、他の委員会とも連携を取りながらクラブの強化、活動の活性化に繋げる一年とします。そのためにメンバー間のコミュニケーションを図り、親睦を深めながらロータリー活動への理解と知識を向上させ、クラブ運営の課題とその克服に取り組みます。

◇**親睦小委員会** 吉田美登紀リーダー

新型コロナウイルス感染症のため活動の制限を余儀なくされてきた数年間でしたが、第5類に引き下げられたことで、今年度は親睦の機会の創出を意識した活動を考えています。

- 1) 夜間例会(季節や行事に即した設えを工夫)
- 2) 八戸中央RCとの合同例会(幹事クラブ)
- 3) 八戸東RCとの合同例会(幹事クラブ)
- 4) 委員会の開催

夜間例会の設えや毎月の親睦委員会の活動ということで委員会を毎月開催していきたいと思っております。

引き続き安全に配慮しながら、楽しく親睦を深める一年間にしたいと思います。

◇**情報広報小委員会** 小田 正リーダー

会報やホームページの更なる充実に努めたいと思ひます。

◇**研修小委員会** 小向龍悦リーダー

会員への情報提供や、地区の研修への参加、例会を利用した会話の場を活用し、その中で、新入会員に対してはオリエンテーションの実施により、ロータリーの理解を深める。また、現会員に対してはコミュニケーションの場を通して、相互の理解を深めるようにしたいと思います。

◇**奉仕プロジェクト委員会** 小金平育男委員長

今年度はそれぞれの小委員会活動を補佐して、継続と積極的活動を目指します。地域社会に求められる奉仕活動の新情報を掴むことや、現に実施している活動を継続していくことを大切にします。これまでは、コロナ禍で十分な活動が出来なかったと思ひます。今後はそれぞれの小委員会が計画に沿って活発に動くことを期待します。

◇**職業奉仕小委員会** 千葉哲也リーダー

まずは、会長方針「共に未来を築く」と5つの柱を理解し、本小委員会としてまずは会員一人ひとりが自らの職業を通じ、どのように社会に奉仕しているかを見つめなおしていきます。

1. 四つのテストの唱和の実践
2. 自らの職業と奉仕活動の紹介

唱和を通じ職業奉仕の考えに立ち戻り、卓話の中でお

互いの職業奉仕についての考えを学び合っていきたいと思ひます。

◇**社会奉仕小委員会** 佐々木悦郎リーダー

会長の掲げる「共に未来を築く」のテーマのもと、地域に住む住民の生活の質と福祉の向上に向け、これまでのクラブとしての活動を継承しつつ、地域の現状に対して我々ができることを具体的に行動することを目標として活動展開してまいります。現段階の活動予定の7月9日に蕪島恵比寿浜周辺のゴミ拾い清掃活動等の計画を実行し、地域の美化活動を通じて会長方針の⑤持続可能な社会への実現へつなげてまいりますと思ひます。

◇**国際奉仕小委員会** 片野 潤リーダー(代読:小林会長)

コロナも5類感染症へ移行して、今後本格的に海外との交流や往来が増える予想なので、海外で活動する方々との新規交流や意見交換を増やし、その交流を経てボランティアなどの活動を進めたい、又は今後の足場づくりを考えております。活動としても日本からの金銭支援だけでなく、有志を募り、現地へボランティアをしに行き、現状を視察して今後の想定を考慮していきたいと思ひます。

◇**ロータリー財団小委員会** 源新育子リーダー(代読:小林会長)

今年度、小林会長は「共に未来を築く」をテーマに、クラブ運営及び活動の指針を示されました。その意を得てロータリー財団小委員会では、今期は特にロータリー財団の理解に力を入れたいと考えます。昨年度のPETSや地区協議会などの研修ではロータリー財団についての理解がこれまでに強く求められました。そのことを踏まえ、また会長のテーマに沿って考えるに、クラブの一人一人が財団のシステムや活動の内容などを理解することにより、もっと地域社会や世界平和に対する様々な奉仕のニーズに心を寄せることと思ひます。以上の事から4項目の具体的な実施目標を掲げました。

1. 地区ロータリー財団研修への参加【7月・11月】
2. 地区目標の達成 年次基金寄付 一人150ドル
ポリオプラス寄付 一人 30ドル
3. ポールハリスフェロー・ベネファクターの輩出
4. ロータリー財団研修の実施(例会以外に学べる手段を考え実施する)

◇**青少年奉仕小委員会** 小野晶子リーダー

八戸聖ウルスラ学院高等学校インターアクトクラブの活動が今後活発化すること、青少年交換留学制度も復活することも鑑み、次のような活動を考えております。ウルスラ高校インターアクトクラブへの支援、交換留学生へのサポート、従前より続けている児童養護施設などへの経済的な支援、この3つを柱にして活動していきたいと思ひます。

 **ロータリー財団セミナー報告** 佐々木悦郎会員

7月15日(出)アスパムでの第1回財団セミナーに参加しました。63名の参加で、最後に私たちのこども食堂の報告をしました。前年度の地区補助金事業は40クラブのうち28クラブで地域性のある事業を実施されたということです。グローバル補助金事業としては4つ、ウクライナへの支援、タイの水事業、タイの白内障の整備、セルビア小学校への教育推進というものに使われたそうです。ポリオ・プラス事業、資金推進などの説明を受けました。

ポリオ・プラスの事業では、10月24日のポリオデーに合わせて地区大会の10月22日にマチナカウォークラリーを実施予定、ポリオワクチン投与活動は12月2日～6日、アフガニスタンとパキスタンに行くそうです。ご興味のある方はぜひご参加願ひします、ということでした。

担当者から、次年度・次々年度、何をするか申請書に明確に書いていただきたい、期間をしっかり守ってください、という注意がありました。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)